

総務厚生常任委員会

白鷹町に移住し、夢を叶えて！

6月9日に委員会が開催され、2年目の「ふるさと移住応援プログラム事業」についての説明を受けた。

移住希望者の

“夢”を応援

移住推進の取り組み

◆ホームページの開設や移住相談会を重ね、今年3月に移住者があった。さらにスムーズな情報発信とお試し移住的体験も実施する。

質疑

移住者の状況は

【委員】3月に移住された方の様子は。

【当局】移住目的がはた織りで都内から移住。月に2反が目標との事。今後も定期的に話を伺い、事業に反映したい。

魅力あるPRを

【委員】移住の決め手は「条件」や「魅力」であり、それぞれに夢もある。魅力あるPRと夢が叶う事業を。

【当局】移住希望者がどのような夢を持っている

るか情報を得ながら取り組む。

すでに移住された方々の力も借りて白鷹町の良さをPRしていきたい。



移住し、はた織りに集中

進路の選択肢が広がる

「荒砥高校活性化事業」についての説明を受けた。

3分の2が就職 3分の1が進学

介護職員初任者研修 資格取得支援が特徴

◆新入生応援事業と介護職員初任者研修資格取得支援を行う。荒高生は無料で受講できる。取得資格を生かし、介護福祉関係への就職率は100パーセントになった。

質疑

受講数が伸びないのは

【委員】研修は荒高の魅力の一つだが受講者数が伸びない理由は。

【当局】講習は授業終了後に行い半年間という



長期間にわたる。生徒の希望もさまざまであり、申込み時点では進路を決めかねているのではないか。

生徒の進路先は

【委員】白鷹町出身の生徒の進路先がわからない。資料として提示し

てほしい。

【当局】ご指摘は町民からもいただいている。「町出身の子どもたちがどうなったか」「町内企業への就職は」など、関心は高い。提供できる範囲で対応したい。